

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊浜商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	総合評価	事業実施評価	調査結果	満足度	必要性	補足		
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の脆弱な小規模事業者を、商工会職員が訪問し、又は商工会窓口にて、金融・税務・労働等の経営全般について、相談指導を行い、経営及び技術の改善を図り、健全な企業の育成を行う。また、創業の相談窓口設置により、起業家の育成に努める。	・巡回・窓口指導 実企業数 238（内非会員3） 延件数 874（内非会員11） ・課題解決提案件数 15件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 109.3%)	指標 課題解決提案件数 (達成度 75.0%)	得られた効果 ワンストップで気軽に相談できる小規模事業者の相談相手、あるいは高度な案件については専門家への橋渡し役として、企業の経営や技術の改善支援を行い、また、各種施策の普及が図られた。	総合評価 A	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	経営指導員を中心に、全職員での実施体制を整える。課題解決のための提案も積極的にを行い、事業者の持続的発展の支援をしていく。				
記帳継続指導	個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	・指導事業所数 63事業所 ・指導延日数 440日 ・指導延回数 884回	小規模事業者	指標 記帳指導事業所数 (達成度 101.6%)	指標 (達成度 %)	マイナンバーカード作成を推進した結果、E-TAX本人送付による特別控除を受けることができ、事業者は節税に繋がった。税制改正に伴い、適格請求書発行事業者（インボイス制度）の登録申請を行った。	総合評価 A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法② 現行どおり	適格請求書発行事業者の登録申請（インボイス制度）、マイナンバーカード作成推進、税制改正等の周知、記帳機械化推進を図る。				
講習会等	変化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	受講者数 集団指導 13回 39人 個別指導 52回 102人 規模や経費などの効率とそれぞれの特性の面から知多南部5商工会（武豊町・美浜町・内海・師崎・豊浜）での連携事業を中心に実施した。	小規模事業者	指標 集団受講者数 (達成度 68.4%)	指標 個別受講者数 (達成度 340.0%)	事業環境が変化するなか、事業者は様々な経営上の問題に直面した。これらの問題に対し、各分野の専門家との個別相談指導により、事業継続の支援を行うことができた。	総合評価 A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	今後も連携事業と共に、必要に応じてタイムリーなテーマの講習会を実施していく。				
祭典事業	町の産業の紹介並びに生産性の高揚を目的に、町、農協、漁協と商工会で推進協議会を組織し、南知多町産業まつりを開催。農・畜・水産物の展示卸売及び農畜産物品評会、商・工業製品の展示、即売会等を行い、地域産業の振興に寄与する。	11月6日開催 来場者 8,000人 事業所・団体の出店数 10 農・畜・水産物の展示卸売、品評会、商工業製品の展示卸売、抽選会、アトラクション等を実施。本会から飲食店、小売店の出店。	商工業者並びに事業者団体	指標 出店者数 (達成度 66.7%)	指標 (達成度 %)	町内外から多くの観光客、消費者が来場し、豊浜（南知多町）の商工、観光業を広く紹介することができた。また商工会と行政、農水産との連携事業として意味があり、地域産業全体の振興に寄与した。	総合評価 B	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法② 現行どおり	南知多町一番のイベントとして定着しており、今後も町、農協、漁協、商工会の枠組みで実施していく。				
商店街・街づくり事業	街路灯を有効に点灯することにより、商店街の振興と発展並びに顧客の安全を図る。	街路灯82基の管理 街路灯の修理や電灯料など維持管理を行なった。	小規模事業者	指標 街路灯基数 (達成度 86.3%)	指標 (達成度 %)	街路灯を有効に点灯することで、町の中を明るく活気づけ、買い物客等の安全確保にも効果があった。	総合評価 B	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 A	満足度 B 補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法② 現行どおり	まちの発展のため明かりを消すことなく守っていく。				
商工業振興事業	商業・工業・水産の各部会において、各業種の地域実態を把握するとともに、地域経済振興に向けた対応を検討、地域活性化に向けた各種事業の取り組みや地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	・商品券等拡充強化 商品券販売数1,715千円（額面） ・商業・工業・水産の各部会の事業所・業種団体と協力の下の、産業まつりへの展示等の協力実施。 各部会事業数 3	商工・水産事業者	指標 各部会事業数 (達成度 60.0%)	指標 (達成度 %)	商品券事業では、地区内消費者の購買意欲に寄与した。地域における消費の喚起及び小売業者等への支援策として行った地域応援クーポン券の発行事業の促進に寄与した。	総合評価 B	事業実施評価 自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法② 現行どおり	既存事業の見直しをしながら新事業も検討する。商品券販売の拡充や、プレミアム商品券のあり方も検討していく。				
観光振興事業	町観光協会並びに地区内の観光関係者と密なる連携を保持し、観光開発と観光事業の振興に寄与することを目的とする。	・観光地の維持管理・美化的推進事業 2回	観光事業者	指標 観光施設美化事業回数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	万葉公園等の清掃業務に取り組み、観光地の維持管理に寄与した。	総合評価 A	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法② 現行どおり	観光協会と協力しながらイベント開催・参加や観光美化事業の実施を検討する。				
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策の普及と、商工会員への地域情報の提供を行うため、広報活動を行う。	知多南部5商工会で合同会報「風」を年4回発行(4月・7月・9月・1月) また、新型コロナウイルス感染症に係る支援策周知のため、「商工会だより」を独自に7回発行。	商工会員及び小規模事業者	指標 会報発行回数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	商工会事業及び施策等の情報提供を行うことにより、地区内商工業者の活性化に寄与した。	総合評価 A	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法② 現行どおり	今後は、現状の年4回発行を維持し、内容について商工会員や小規模事業者のニーズにあった内容を検討し発行していく。				

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

青年部・女性部事業	青年部及び豊青会（青年部09会）・女性部での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	・青年部及び女性部事業の開催回数 21回 ・若手後継者等育成事業セミナー・講習会等開催回数 3回	青年部及び青年部09・女性部部員	指標 青年部・女性部事業回数 (達成度 87.5 %)	指標 セミナー・講習会等開催 (達成度 60.0 %)	各事業の企画・参加により、地域振興の担い手としての自覚が芽生え、地域資源活性化事業など商工会事業推進の役割を果たした。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	部員増強と組織強化を図る。また講習会等を数多く開催し部員の資質を向上させる。
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及により企業の健全な育成に資することを目的とする。	共済加入回数 中小企業共済 613件 愛知火災共済 45件 PL・総合保険他 115件 計 773件	中小・小規模事業者	指標 共済加入回数 (達成度 103.1 %)	指標 (達成度 %)	小規模事業者の福利厚生・事業所の設備・製品の方が一の備えの充実がなかった。健康普及事業において、中小企業共済の助成金を活用する事業者も多く、同業活用促進にもなった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 上げる 実施方法①	目標② 実施方法② 現行どおり	現行を維持すべく、引き続き各種共済制度の普及、加入促進を行うと共に給付金の手続き及び管理事業を行う。
健康普及事業	労働者の定期健診は必須だが、事業者が自ら企画することは面倒もあり、実施されない恐れもある。また、小規模事業者にとって事業主や家族従事者の健康状態は、事業経営に直結することから、労働安全衛生法の遵守と経営の安定を図るため実施する。	健康診断4回(6月7、8日、7月5、6日) 受診者611人(うち豊分分231人) 半田市医師会と提携し、知多南部5商工会の広域連携事業として実施。法定健診、特定健診、協会けんぽの助成対象コース、一部特殊健診(じん肺・有機溶剤)にも対応。	中小・小規模事業者	指標 健診受診者数 (達成度 115.5 %)	指標 (達成度 %)	毎年参加する事業所の定期健診の担保となり、早期発見・早期治療と健康管理の一助となった。また、中小企業共済の助成金を受ける受診者も多く、共済のPRと福利厚生事業活用の促進にも図ることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 実施方法② 現行どおり	ニーズ対応と健診の啓蒙が図られ、年々受診者が増え、出張健診としては、検査項目等も限界に近しいと思われ、今後もニーズの把握に努めるが、概ね現行どおり実施していく。
労働保険事業	厚生労働省認可の労働保険事務組合として、事業所から委託を受け、労働保険料の申告納付、労働保険各種届出等の事務手続を代行することにより、事業主の事務処理の負担軽減と労働保険の適用促進並びに保険料の適正な徴収を図る。	労働保険事務受託事業場数 91件 被保険者に係る届出 293件 特別加入に係る届出 1件 事業所の各種届 5件	中小・小規模事業者	指標 労働保険受託事業場数 (達成度 97.8 %)	指標 (達成度 %)	事業主の事務処理の負担軽減と労働保険料の適正徴収に寄与することができた。また、巡回・窓口相談と併せて労働基準法・働き方改革を始め各種労働法規の周知と事業所の労務管理の一助となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 実施方法② 現行どおり	労働保険事務組合業務は、地域の対象事業所の状況が妥当と思われる。
若手後継者等育成事業(セミナー)	女性部員を対象に、資質向上となるセミナーを開催する。(阿久比町商工会、東浦町商工会、内海商工会、豊浜商工会、師崎商工会、美浜町商工会、武豊町商工会の合同開催(知多支部商工会女性部連絡協議会))	女性部資質向上事業(セミナー開催)(9月) ・参加者数 60名 (※7商工会の合計) ・参加者満足度 90%(アンケート調査)	女性部員	指標 参加者数 (達成度 46.2 %)	指標 参加者満足度 (達成度 112.5 %)	セミナーを通して、地域の絆、人との絆、商工会女性部の絆を強くし、今後の女性部活動を推進する上での礎をつくることのできた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	事業者への調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	新型コロナウイルス感染症の影響も鑑み、参加人数の目標値を下げる。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。